

寒冷地における一般住宅へのLPガスマイクロコージェネレーションの  
有効利用に関するエネルギー実態調査結果概要

1. 実施者

住 所 札幌市中央区北3条西1丁目2番地  
会社名 エア・ウォーター・エネルギー株式会社

2. 調査概要

(1) 目的

寒冷地(北海道・東北)におけるエネルギー消費データと意識を把握し、LPガスマイクロコージェネレーションの最適導入提案によって新しいLPガス需要創造が出来るか否かを調査検討する。

(2) 実施方法

計器による実測測定(札幌・仙台)  
アンケート方式による消費調査  
アンケート方式による意識調査

3. 調査結果概要

熱需要として灯油をメインにしている地域(北海道)では、コストメリットを出しにくい。電気と熱(LPガス)の需要付加パターンが似ている地域(東北)では、積極的な推進が図れる。電力消費は大都市圏のある地域がその他の地域より多い消費電力量となっている。ガス及び灯油については北海道地区においては、給湯需要への灯油の消費が圧倒的である一方、東北地区ではガスによる給湯がメインであり給湯需要のエネルギー種の差が表れている。北海道地区と東北地区ではガスと灯油の用途に大きな違いがありながら、冬期間の毎月のエネルギーコストにはほとんど差が無いが、北海道地区においてLPガスは一般消費者から高コストなエネルギーと見られている。

4. 調査結果から得られた効果

寒冷地ならではのエネルギー利用形態と熱負荷を知ることで、寒冷地住宅向けコージェネレーションの本体や貯湯槽などのハード面と運転方法や熱負荷の利用形態等のソフト面から市場に合ったシステム提案ができる。また消費者に対してエネルギー全般に係る消費実態調査を通して、消費者意識が明らかになり、今後の寒冷地におけるLPガス販売事業者の市場に対する構造改善に寄与できる。

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

今後、一層のエネルギー自由化が進む中で、今一度LPガスの良さを見直し、コンロからコージェネレーションまでユーザーからの信頼を得て選択されるエネルギーにならなければならない。その為に、コージェネレーションを「高機能ガスエンジン給湯機」と位置づけて新たな熱需要を創造し、メーカーには一層の低コスト高効率機の開発を願い、エネルギー事業者として積極的なPRをしていく。

6. 補助金確定額

7,178,556円